

産業廃棄物処理計画書

R5 年 5 月 30 日

新潟市長様

提出者

住所

新潟県新潟市東区河渡2丁目3-11-14

氏名

株式会社 親和
代表取締役 近藤忠

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

025-385-7555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 親和
事業場の所在地	新潟県新潟市東区河渡2丁目3-11-14
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日 から 令和 6 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	職別工事業
②事業の規模	120,000千円
③従業員数	11人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	現場発生廃棄物 → 自己又は収集運搬業者による運搬 → 処分再生業者(全処理委託)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役 ➡ 現場責任者(職長) ➡ 現場作業員 ➡ 事務員

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (4 年度) 実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	木くず	繊維くず	紙くず	ガラス・陶磁器	金属くず
	排出量	1,401.81 t	14.58 t	2.20 t	467.93 t	0.74 t	0.15 t	153.79 t	0.11 t
② 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	木くず	繊維くず	紙くず	ガラス・陶磁器	金属くず
	排出量	1,300.00 t	100.00 t	2.00 t	450.00 t	1.00 t	0.50 t	150.00 t	0.15 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃石膏ボード	混合安定型廃棄物	混合管理型廃棄物	水銀使用			
	排出量	19.95 t	79.23 t	0.68 t	121.76 t	0.01 t			
(これまでに実施した取組)									
・解体工事現場での分別解体の徹底									
(今後実施する予定の計画)									
・受注の量により減量が困難な為、分別を徹底し混合物の削減に努める									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・廃棄物の種類ごとに分別し、処理業者へ排出
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・適正な分別作業の実施 ・混合廃棄物の削減の徹底

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状		【前年度（4年度）実績】							
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	木くず	繊維くず	紙くず	ガラス・陶磁器	金属くず	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃石膏ボード	混合安定型廃棄物	混合管理型廃棄物	水銀使用				
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	木くず	繊維くず	紙くず	ガラス・陶磁器	金属くず	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃石膏ボード	混合安定型廃棄物	混合管理型廃棄物	水銀使用				
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状		【前年度（4年度）実績】							
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	木くず	繊維くず	紙くず	ガラス・陶磁器	金属くず	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃石膏ボード	混合安定型廃棄物	混合管理型廃棄物	水銀使用				
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	木くず	繊維くず	紙くず	ガラス・陶磁器	金属くず	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃石膏ボード	混合安定型廃棄物	混合管理型廃棄物	水銀使用				
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状		【前年度（4年度）実績】							
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	木くず	繊維くず	紙くず	ガラス・陶磁器	金属くず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃石膏ボード	混合安定型廃棄物	混合管理型廃棄物	水銀使用				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	木くず	繊維くず	紙くず	ガラス・陶磁器	金属くず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃石膏ボード	混合安定型廃棄物	混合管理型廃棄物	水銀使用				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状		【前年度（4年度）実績】							
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	木くず	繊維くず	紙くず	ガラス・陶磁器	金属くず	
全処理委託量	1,401.81 t	14.58 t	2.20 t	467.93 t	0.74 t	0.15 t	153.79 t	0.11 t	
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	391.66 t	0.13 t	0.15 t	18.33 t	t	
再生利用業者への処理委託量	1,401.81 t	14.58 t	2.20 t	467.93 t	0.74 t	t	153.79 t	0.11 t	
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃石膏ボード	混合安定型廃棄物	混合管理型廃棄物	水銀使用				
全処理委託量	19.95 t	79.23 t	0.68 t	121.76 t	0.01 t	t	t	t	
優良認定処理業者への処理委託量	0.15 t	t	t	t	t	t	t	t	
再生利用業者への処理委託量	19.95 t	79.23 t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)									
・委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施									

① 計 画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	木くず	繊維くず	紙くず	ガラス・陶磁器	金属くず
	全処理委託量	1,300.00 t	100.00 t	2.00 t	450.00 t	1.00 t	0.50 t	150.00 t	0.15 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	400.00 t	1.00 t	0.50 t	30.00 t	0.10 t
	再生利用業者への処理委託量	1,300.00 t	100.00 t	2.00 t	450.00 t			150.00 t	0.15 t
	認定熱回収業者への処理委託量								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃石膏ボード	混合安定型廃棄物	混合管理型廃棄物	水銀使用			
	全処理委託量	20.00 t	80.00 t	1.00 t	100.00 t	0.01 t			
	優良認定処理業者への処理委託量	0.50 t	10.00 t		10.00 t	0.01 t			
	再生利用業者への処理委託量	20.00 t	80.00 t						
	認定熱回収業者への処理委託量								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
(今後実施する予定の取組)									
<ul style="list-style-type: none"> ・可能なかぎり優良認定業者から選定する 									
※事務処理欄									

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	株式会社 親和 代表取締役 近藤忠	提出者の住所	新潟県新潟市東区河渡2丁目3-11-14
事業場の名称	株式会社 親和	事業場の所在地	新潟県新潟市東区河渡2丁目3-11-14
内容年度	令和 5 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 ／ 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
コンクリートがら	現状	1,401.81					1,401.81		1,401.81		
	計画	1,300.00					1,300.00	0.00	1,300.00		
アスコンがら	現状	14.58					14.58		14.58		
	計画	50.00					100.00	0.00	100.00		
その他がれき類	現状	2.20					2.20		2.20		
	計画	2.00					2.00	0.00	2.00		
木くず	現状	467.93					467.93	391.66	467.93		
	計画	450.00					450.00	400.00	450.00		
繊維くず	現状	0.74					0.74	0.13	0.74		
	計画	1.00					1.00	1.00			
紙くず	現状	0.15					0.15	0.15			
	計画	0.50					0.50	0.50			
ガラス・陶磁器	現状	153.79					153.79	18.33	153.79		
	計画	150.00					150.00	30.00	150.00		
金属くず	現状	0.11					0.11		0.11		
	計画	0.15					0.15	0.10	0.15		
廃プラスチック	現状	19.95					19.95	0.15	19.95		
	計画	20.00					20.00	0.50	20.00		
廃石膏ボード	現状	79.23					79.23		79.23		
	計画	80.00					80.00	10.00	80.00		
混合安定型廃棄物	現状	0.68					0.68				
	計画	1.00					1.00				
混合管理型廃棄物	現状	121.76					121.76				
	計画	100.00					100.00	10.00			
水銀使用	現状	0.01					0.01				
	計画	0.01					0.01	0.01			
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合計	現状	2,262.94					2,262.94	410.42	2,140.34		
	計画	2,154.66					2,204.66	452.11	2,102.15		